

かったが、楕円銀河の中心核では一般に非常に電波強度の強い活動性が起こっている点で渦状銀河の活動性と少し異なっている。これらの観測事実、銀河のダイナミクス、ガスの性質等のホストの性質がモンスターの有無や活動性の種類を規定していることを示唆している。次に銀河の環境である。特に銀河相互作用は確実に銀河中心核の活動性の増進剤になっている。銀河相互作用はホストそのものの性質を変えるという点では先述の要因とオーバーラップするが、関連する物理プロセスを整理しなおしてみる必要があるように思われる。最後は、まさに銀河中心核の形成と進化である。最近になって、少しづつではあるが、遠方のクエーサーや輝線銀河の詳しい観測がようやくできるようになってきた。そろそろ、銀河中心核あるいはモンスターがいつ、どのようにして

出来たのかを真剣に考えても良いだろう。

いよいよ、スターバーストと普通の銀河核との進化的リンクまで含めたスーパー統一モデルへの道を歩み始めなければならない時期にきている。90年代は80年代以上に多忙である。

最後になるが、AGN、スターバースト、銀河衝突、中心核への燃料補給機構などについて楽しく有益な議論して下さった毛利英明、川良公明、富阪幸治、野口正史の各氏に感謝いたします。また、筆者は本年4月に東北大学へ移ってきたが、それ以前の4年間は口径105cmのシュミット望遠鏡がある東京大学理学部天文学教育研究センター木曾観測所にいた。この4年間、筆者を暖かく見守ってくれたシュミット望遠鏡と木曾観測所の所員の方々に感謝いたします。

## 学会だより

### 日本天文学会評議員候補者選挙に関する公示

選挙管理委員会は、1992年の総会に推薦される改選評議員（任期1992年～1996年）候補者の選挙について、定款第19条及び評議員選挙施行細則（以下細則という）の規定に基づき、下記の通り公示する。

#### 記

1. 選挙権及び被選挙権を有するものは、この公示の時点における特別会員である。ただし被選挙権については非改選評議員（任期1990年～1994年）であるものを除く（細則第3条による）。
2. 上記有権者には、有権者名簿及び投票用紙を別に発送する（細則第4条による）。
3. 投票は、10名以内の無記名連記とする（細則第5条による）。
4. 投票期間は、1992年1月14日から同年2月10日（必着）までとする。
5. 選出された候補者の名簿は、1992年4月20日発行の天文月報（1992年5月号）にこれを発表する（細則第7条による）。
6. 投票の詳細に関しては、上記2の投票用紙の発送に際して、これを通知する。

以上

1991年11月20日

選挙管理委員会

### 評議員選挙・有権者の仮名簿について

日本天文学会では、評議員選挙を行うに当って、従来の手続きの中で、有権者＝特別会員の所属を確認するた

め公示の時点における有権者仮名簿を作製し、有権者全員にこれの訂正をお願いしてまいりました。

一方、秋季年會会場で名簿提示および選挙管理委員による校正も併せて行ってまいりました。

その中で、有権者個人からの訂正は僅か（数名）であるため、今回はこの仮名簿の個人宛発送（1991年度、890名）を省略させてみることに致しました。

従いまして、天文学会へ所属変更の手続きをされていない方は速やかに当学会へご連絡下さるようお願いいたします。

注意：投票用紙の発送は、1991年11月20日現在の会員原簿の住所によりますから、その後、変更等のある方は必ず1991年12月6日までに申し出て下さい。

### 1991年度（第4回）日本天文学会研究奨励賞候補者の推薦について

会員の皆様からの資金援助によって、1989年度より標記の学術賞を設けております。

この賞は日本天文学会々員で35歳以下の若手研究者を対象としております。候補者推薦に関する手続きは、『日本天文学会研究奨励賞内規』に従って行いますので、会員の皆様からのご推薦をお待ちしております。

推薦書式は特にありませんが、推薦理由、推薦者の氏名・所属、候補者の氏名・所属・生年月日を明記して下さい。

◇推薦締切：1991年12月末日

◇推薦書宛先：〒181 東京都三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台内

日本天文学会研究奨励賞選考委員会

◇問い合わせ：日本天文学会（0422-31-1359）